

平成 20 年度
桜道コミュニティハウス事業計画書

指定管理者 港南区区民利用施設協会

事業計画書様式2-(1)

桜道コミュニティハウス 指定管理者事業計画書			
提出年月日 平成20年 2月 8日			
団体名	港南区区民利用施設協会		
代表者名	会長 高森 政雄	設立年月日	平成 7年 4月 1日
団体所在地	横浜市港南区港南6-2-3 桜道コミュニティハウス内		
電話番号	045-847-5211	FAX番号	045-847-5262
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市港南地区センター	港南区日野1-2-31	昭和55年 3月25日	
横浜市東永谷地区センター	港南区東永谷1-1-12	平成 9年 6月 8日	
横浜市野庭地区センター	港南区野庭町612	平成14年 2月 9日	
桜道コミュニティハウス	港南区港南6-2-3	平成12年 4月28日	
横浜市下野庭スポーツ会館	港南区野庭町136-4	昭和54年 9月22日	
野庭東コミュニティハウス	港南区野庭町346-2	平成 2年 4月25日	
上永谷コミュニティハウス	港南区上永谷4-12-14	平成 3年 4月27日	
日限山コミュニティハウス	港南区日限山2-16-1	平成 4年 4月18日	
港南台コミュニティハウス	港南区港南台2-14-1	平成10年 4月25日	

事業計画書様式2-(2)

1 港南区区民利用施設協会に関すること

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績（活動実績）について

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

港南区区民利用施設協会は、地区センター3館、コミュニティハウス5館及びスポーツ会館の合計9施設の運営・管理業務を行っており、長年の実績を有しています。

当協会は、『つどい、ふれあい、にぎわう』

『地域に育てられる』

『育て、育ちあう』

をモットーに、長年積み重ねた運営のノウハウ及び地域との連携・信頼関係を生かして、地域住民が身近な場所で、個人利用やささまざまなグループによる活動を円滑に行うことができるようにします。その中で住民同士の交流が図られることにより、都市において失われがちな地域コミュニティが醸成されることを目指して、地域に密着した経営に努めます。

運営については、当協会が長期に安定して運営してきた実績を元に、「経営」の視点を持って、これらの施設及び協会事務局が持つ人的、物的資源を連携して活用します。それとともに、各施設の運営については、地域及び利用内容等の特性を尊重し、基本的な共通事項については、可能な限り統一することにより、利用の利便性・公平性の保持を図るとともに、この中で、有料制の実施を機に「お客様へのサービス提供」との理念を改めて再認識し、より良い運営に努めていきます。また、運営・管理業務を効率的に行うために、会計経理、労務管理を協会事務局が一元的に行うことにより、スケールメリットを生かすとともに、弾力的な運用を図り、収入の増加及び管理費の節減等に努めます。

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績（活動実績）について

当協会は、平成7年4月に区民利用施設の管理運営業務を開始し、現在次の9館の運営管理を事務局含めて87名で行っています。この間、地域に密着した運営を行い、利用の拡大とサービスの向上に努めており、地域からも高い評価を得ています。

また、自主事業についても、利用者のニーズ、自主性を取り入れた講座等を実施し、平成18年度の利用実績は439,057人となっており、概況は次のとおりです。

施設名	来館者数(人)	自主事業数	左欄の参加延べ人数(人)
港南地区センター	83,020	33	2,678
東永谷地区センター	81,920	27	2,587
野庭地区センター	83,071	37	2,144
桜道コミュニティハウス	30,615	14	1,192
下野庭スポーツ会館	19,837	7	743
野庭東コミュニティハウス	31,080	5	614
上永谷コミュニティハウス	44,992	5	140
日限山コミュニティハウス	37,610	4	630
港南台コミュニティハウス	26,912	10	440
合計	439,057	142	11,168

(ウ) 港南区区民利用施設協会の考える情報提供及び情報公開について

情報提供の充実は、

- ① 利用者の増加
 - ② 利用者の情報入手機会の拡大
 - ③ 利用者への興味の触発、動機づけ
- のために必要であり、そのために次のことを行う。
- ① 施設案内パンフレットによる概要、利用方法等のPR
 - ② 『施設だより』の発行
 - ③ 自主事業内容、事業ごとの周知、募集
 - ④ 広報区版の活用
 - ⑤ 港南区ホームページの活用
 - ⑥ 生涯学習支援センターでの情報提供
 - ⑦ 他の地区センターやコミュニティハウスでのポスター、チラシの配布、自治会町内会の掲示版の利用、班回覧への依頼。
 - ⑧ ケーブルテレビを媒体として利用、放映。
 - ⑨ 館内にPRコーナーを設置し、館の情報、グループ活動情報の提供等に活用。

情報公開は、

施設管理運営の透明性の確保により、利用者の信頼獲得のために必要であり、そのために次の情報を公開する。

- ① 経営方針
- ② 個人情報取扱方法
- ③ 利用要綱
- ④ 苦情・事故の対応方法
- ⑤ 事業計画書、報告書
- ⑥ センター委員会の結果報告
- ⑦ 利用者アンケートの結果報告
- ⑧ 利用者会議の結果報告
- ⑨ 第三者評価の結果報告
- ⑩ その他

『港南区区民利用施設協会のホームページ』を新規開設します。

- 《目的》
- ・ 協会および各施設の管理・運営をオープン
 - ・ 協会および各施設のPR強化
 - ・ 利用者が知りたい「施設協会および各施設の情報」を入手し易くする。

以上により、さらなる施設利用者の拡大に向け情報提供、公開の強化、充実に努めます。

2 桜道コミュニティハウスの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 桜道コミュニティハウスの管理運営を希望する理由について

(イ) 桜道コミュニティハウス管理運営の位置づけについて

(ウ) 港南区の特徴や桜道コミュニティハウスの設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 桜道コミュニティハウスの管理運営を希望する理由について

当協会は、5館の地区センターを含み、12施設を運営管理してきた実績を有し、それらの物的、人的資源を連携して活用することにより、単一施設の枠を超えて役割の向上を図っています。

今後とも桜道コミュニティハウスを含む複数施設を運営することにより、それぞれの施設の特性を尊重しつつ、蓄積されたノウハウ等を生かすとともに、事業面でも相乗効果を発揮し、お客様に対してさらなる良好なサービスを提供できるものと考え希望するものです。

(イ) 桜道コミュニティハウス管理運営の位置づけについて

1及び2(ア)で述べましたように、当協会の役割及び業務内容において、桜道コミュニティハウスの管理運営は地区センターと同様に、重要な役割を担うものであり、地域・施設の多様性、自主事業の企画力強化等の面で、総合力、効率性、相乗効果の発揮のために桜道コミュニティハウスの運営は不可欠です。

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

港南区は、起伏の多い地形で、道路、交通の主要幹線はほぼ整備されているものの、高齢者、子育て中の家族にとっては、移動に困難性を伴う地域が多い。人口構成(H16.9月)は、全市のほぼ中間ゾーンに位置していますが、昼夜間人口比率は、18区中14位と低く、区外への通勤・通学者が多くなっています。人口増加は、平成2年以後沈静化しており、区域は商業地と住宅地でバランスがとれています。

市民意識調査(H15.9月)における生活環境調査での区民の満足度は、栄、金沢、青葉の各区について4番目と高く、地域に対する評価も高い。

地区センター等区民利用施設は、地域の多様な個人やグループが、各人のライフステージにおいて、学習、文化・芸術、レクリエーション・スポーツなどへの欲求実現のために、身近な場所で気軽に活用することにより、満足と成長の場を提供するものとして、地域コミュニティの醸成に貢献しています。

これらのことから、運営については、地域コミュニティ、ふるさと意識の更なる醸成に向けて、活動等の場と機会の提供を通じて各施設間の連携による機能及びサービスの向上に努めます。

3 桜道コミュニティハウスの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

(ウ) 他施設や併設施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

桜道コミュニティハウスの主な利用対象地域は、港南、笹下がほとんどで、比較的狭く身近な施設として親しまれている。3世代同居世帯は比較的多い。

当館は、青少年図書館から転換した施設であり、図書館、学習室を中心とした小規模施設である。(体育室はない)

利用については、図書の閲覧、学習が多いが、多目的室、研修室を利用したダンス等、文化・レクリエーション系の利用もある。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

ニーズ及び意見、要望については、受付での予約・相談の際のほか、①運営委員会、②利用者会議、③自主事業参加者、④近隣地区に居住するスタッフから吸収している。

また、年一回の協会一斉アンケートを行うとともに『お客様の声』の活用など運営に反映していきます。

利用面では、中高年女性の文化系サークル及び体操関係のグループ利用が多く、男性は囲碁将棋を楽しんでおり、小・中学生の自由利用、高校生以上の学習のための利用がある。また、子育て中の若い母親も多いことから、

- ① 高齢者がゆとりを持って参加できる事業
- ② ガーデニング等生活を豊かにするための事業
- ③ 異なる年齢層が参加できる事業
- ④ 乳幼児と母親を対象とした事業

が望まれており、これらを事業メニューの企画に反映させていく必要がある。

(ウ) 他施設や行政関係機関との連携について

事業を運営するにあたり、他の地区センターやコミュニティハウスと必要な物品を貸し借りするのみではなく、共同で購入し、連携した自主事業を企画していきます。

特に港南地区センターとの関係について、イベントの共同化、自主事業での連携も考えて行きたいと考えています。

また、他の地区センターやコミュニティハウスとともに、行政関係機関が主催する各種事業に積極的に参加し、各種情報の発信基地としての役割を担い、活力ある地域コミュニティの醸成を目指します。

4 桜道コミュニティハウスでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

区民が気楽に利用する施設として、幼児から高齢者まで誰でもが気持ちよく利用できるよう公平・公正な運営のもとに、親切で明るくさわやかな対応を心掛け、可能な限り弾力的な運用、サービス向上を図ります。

また、利用の制限については、必要最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

利用者相互で気持ちよく利用していただくために、事前のセットアップに努めるとともに、予約方法、弾力的利用などのサービスに努めます。

利用方法

- ① 1F 交流コーナーでの軽飲食を認める。
- ② 当日空き室がある場合、その基本的位置づけを踏まえ、有料を前提に弾力的な運用を行う。
- ③ 飲物の自販機を設置。

予約申込み

- ① 予約開始日を2か月前に拡大。
- ② 電話予約は、改めて本予約に来館されることを条件に受け入れる。

予約情報(空き室情報)

- ① 受付カウンター付近の案内板で、状況が確認できるようになっている。
- ② 今後インターネットによる予約情報の確認ができるように検討する。

その他

- ① 自主事業から生まれたグループに、一定期間優先利用の優遇を与え、その育成と発展を図る。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

活動の場を必要とする個人・団体のニーズには、①利用可能施設の概要、料金など ②事業メニュー、講座内容、活動グループなど ③講師、指導者紹介などがあり、相談内容に応じて、①横浜市、港南区役所(生涯学習支援センター)、地域ケアプラザ等の情報を可能な限り収集・提供するとともに、専門家の紹介・調整・活動の進め方、グループづくりなどについて、可能な範囲で支援する。

事業計画書様式2-(6)

5 事業の実施に関すること

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画書(様式4)

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

自主事業については、企画段階において、地域及び利用者のニーズを適切に反映すると同時に、館としても地域に対する提案力を高めていくことが必要であると考えています。

また、実施に際しては、地域の様々なリーダーを講師、指導者として活用するとともに、各層のボランティアを取り入れていくことなどにより、参加しやすい費用とすることも必要である。

これらにより、自主事業の魅力の向上と地域内の交流を深めることができると考えています。桜道コミュニティハウスでは、青少年図書館から転換した施設で、地域性が強く、また、小中学生の利用が多いことから、次の様な分野を中心に自主事業に取り組んで生きたいと考えています。

(1) 生活のうるおい創造

- ・ ミニ・コンサート ・ パソコン講座 ・ 夏野菜をプランターで楽しむ

(2) 子育て支援

- ・ さくらんぼひろば

(3) 健康づくり

- ・ 太極拳

(4) 中高年齢層を含み、幅広い年齢層が参加しやすい、文科系及びものづくり講座

- ・ 陶芸 ・ ワイヤネットで作るトランプを作る ・ おもちゃのドクダミ養成講座
- ・ 純銀粘土で作るシルバーアクセサリー

(5) 地域の交流を深め、伝統行事を継承する事業

- ・ セタかざり

(6) 地区センター・桜道コミュニティハウス合同企画事業

- ・ 『はまどり艇』に乗って横浜港を知ろう

(7) 行政との連携合同事業

- ・ 横浜開港150周年記念事業『横浜 FUNE プロジェクト』共催事業

また、港南地区センターとの連携、調整を強化し、役割分担の見直しによる特色づくりに取り組めます。

6 施設の経営に関する考え方

- (ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について
- (イ) 効率的運営のための具体的な計画について

(ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について

区民利用施設の設置目的及び港南区区民利用施設協会に期待されている役割を、的確に遂行するために、利用者の満足度に資する円滑な運営・管理と魅力的な事業内容の提供を目指して、協会として各館並びに事務局が一体となって、『運営』の視点を取り入れて総合的に取り組みます。

利用者への直接の対応は、各館が行いますが、複数施設を運営する当協会の優位性を生かして、役割の発揮とサービス向上に努めます。全体の管理運営面では、設備、機器、資材等のハード面及び事業企画、ノウハウ等のソフト面での連携・活用、予算の弾力的執行等を、財務面では、収入増加策及び経費の節減を図って参ります。各館の運営については、地域との連携について評価と支援をいただいておりますが、より『わかりやすく、心地よい。』をモットーに改善の努力を続けます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

当協会が行っている複数施設の運営は、

- ① スールリットを生かした予算の弾力的執行、職員の採用及び配置等、人事労務
- ② 運営面での利用者に分かりやすく公平であるための、統一的ルールの設定、運用
- ③ 事業の計画及び実施に係る企画力、ノウハウの活用、連携による内容の充実
- ④ 資材、設備等の共用による有効活用

などの点でメリットを有しており、

- ① 館長等職員の研修の充実と、事務局の総括・調整機能の強化
- ② 年間の業務スケジュールの場面ごとに、館長会議、副館長会議、スタッフ会議を機能的に開催する。

などにより、運営面での調整をはじめ、事業計画上の情報交換、連携、課題の共有・解決策の提示、重要事項の周知徹底等をきめ細かく行います。

収入面では、ニーズを捉えた魅力的事業を企画するなどにより、施設利用率の向上や収入の増加に努めるとともに、今年度より設置した飲料水自動販売機の販売拡大及びPR媒体等における広告料収入へ向けて検討します。

事業計画書様式2－（8）

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

- （ア）職員の配置及び採用について
- （イ）職員の研修計画について
- （ウ）個人情報の保護の措置について

（ア）職員の配置及び採用について

当協会は、桜道コミュニティハウスに次のとおり職員を配置します。

常勤職員（館長1名・副館長2名）		時給職員（スタッフ8名）	
4週8休のローテーション勤務		1週間交替勤務	
早番	8時45分～16時45分	午前（1名）	9時00分～13時00分
遅番	13時15分～21時15分	午後（1名）	13時00分～17時00分
		夜間（1名）	17時00分～21時00分
		作業（1名）	8時00分～11時00分

常勤職員、時給職員の採用については、次の方針により、慎重に選考を行います。

館 長

施設管理運営の総責任者であり、また多数の職員を統括する立場であるため、『適材適所』の理念を基に、桜道コミュニティハウスの運営に意欲のある人材を選考します。

副 館 長

館長を含めて4週8休の体制のため、ローテーションにおいて、館長不在時には館長代理としての責務を担える、桜道コミュニティハウスの運営に意欲のある人材を公募し、選考します。

ス タ ッ フ

地域に密着した施設運営を目指す桜道コミュニティハウスの役割を理解し、その一員として意欲のある人材を地域住民を対象に公募し、選考します。

（イ）職員の研修計画について

桜道コミュニティハウスの職員として、次に掲げる3点の方針に従って研修を企画実施します。

- ① 利用者ニーズに適切に応え利用者サービスに徹する。
- ② 利用者の安全を十分に配慮し、緊急時の即時対応
- ③ 職員一人一人の能力の向上

（ウ）個人情報の保護の措置について

『横浜市個人情報の保護に関する条例』に基づき、仕様書別紙3『個人情報取扱特記事項』を遵守して、施設利用者の情報の保護について、適切に取り扱うことを全職員に徹底します。

まず、利用者の個人情報の取得は最小限にとどめ、他利用者の目に触れぬよう、整理・利用・保存の方法を考慮します。また、書類等作成についても、常に意識を持ち、館長を中心として、職員相互によるダブルチェック態勢を機能させ、不用時の廃棄についても、方法を含め適切に処理するよう指導します。

事業計画書様式2-(9)

8 緊急時対策について

- (ア) 防犯、防災の対応について
 (イ) その他、緊急時の対応について

防犯・防災マニュアルを定め、館長をはじめとして全職員に、各種研修等機会を捉えて危機管理意識を徹底します。

(ア) 防犯、防災の対応について

○防犯の対応について

夜間（閉館中）については、安全管理を円滑に行うため、民間警備会社に機械警備を委託しています。建物への不法侵入を警報機器でキャッチし、巡回中の車両が現場に急行するとともに、警察書・消防署等に連絡が行くようになっています。

開館時間内については、職員が常時注意を払って対応し、内容と上場により常備している緊急連絡先一覧により連絡する等、速やかに対応します。

具体的ケースについては、下欄の分担表により対応します。

○防火・防災

館長に防火管理者の資格を取得させており、防災計画の策定を行うとともに、消防署の協力を得て、毎年消防・防災訓練を実施します。

設備関係については、法令による保守・点検を実施し、異常の場合にきちんと機能する状態を保持します。

なお、激甚災害発生時には、地域に貢献するため、高齢者、乳幼児を抱える家族を対象とした、休養面を中心とした支援を行うなど災害対策の協力を検討します。

(イ) その他、緊急時の対応について

緊急時には、勤務する職員全員で役割を分担し、利用者安全のために臨機応変に対応します。また、利湯者に急病人が出た場合に備えて、各館に毛布を常備し、初期対応に生かします。

◎分担表（ローテーション勤務のため最小配置人数が2名となるため）

職 員	A（館長又は副館長）	B（スタッフ）
役 割	総括・現場対応	避難誘導
	連 絡	

◎緊急連絡網

①警備委託会社等
②関係機関緊急連絡先『警察、消防、医療機関、学校等
③施設職員、コミュニティハウス運営委員会委員
④施設協会事務局、区役所

自主事業計画書

施設名

桜道コミュニテハウス

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
さくらんぼひろば (10回)	0歳~未就園児 と保護者	74,000	49,000	25,000	60,000	5,000	9,000
	25組						
	100円						
パソコン講座 (初級・インターネット) 2コース	一般	114,000	36,000	78,000	80,000	24,000	10,000
	各13人						
	3,000円						
たなばたかざり	幼児~一般	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	どなたでも						
	無料						
ハワイアンキルトで トートバッグを作ろう	一般	60,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0
	12人						
	2500円						
横浜開港150周年記念事業 『はまどり艇』に乗って 横浜を知ろう! (地区以外・桜道CH合同事業)	一般	7,500	5,000	2,500	0		7,500
	5人(総数50人)						
	500円						
夏野菜をプランターで楽しむ	一般	26,000	11,000	15,000	6,000	20,000	0
	15名						
	1,000円						
純銀粘土で作る シルバーアクセサリー	一般	36,000	6,000	30,000	6,000	30,000	0
	15人						
	2,000円						
おもちゃのドクター養成講座	一般	42,000	22,000	20,000	12,000	30,000	0
	10人						
	2,000円						
横浜開港150周年記念事業 『横浜FUNESTY』 施設協会合同事業	小学4年~一般	0	0	0	0	0	0
	40人						
	無料						
陶芸教室	一般	43,000	13,000	30,000	12,000	21,000	10,000
	15人						
	2,000						
太極拳を学ぼう	一般	45,000	33,000	12,000	36,000	0	9,000
	12人						
	1,000円						
ミニ・コンサート	幼児~一般	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	40人						
	無料						
合計		479,500	237,000	242,500	272,000	162,000	45,500

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さくらんぼ ひろば	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てする母親と子にとって身近な場所で気軽に交流できる場の提供が必要である。また親子遊びを通して親子関係を深めるとともに情報交換しながら仲間づくりする。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から未就園児と保護者の楽しめる講座。 <p>みんなでゲーム遊びやリズムで表現する楽しさを味わう。子育て経験者・保母の経験を生かし、子育てする母親の悩みや相談に応じる。</p>	<p>4月～3月 (全10回) 第2月曜日 午前10時～ 11時30分</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハワイキルトで トートバッグを 作ろう	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハワイアンキルトで袋を作る。パターンの繰り返しの為裁縫のあまり得意でないかたも楽しみながら作業することができる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気の事業。今回はポーチであったが、今回は、少し大きいトートバッグに挑戦する。4回で仕上がる予定だが中には予定通り進まない方もいると思うので5回のコースとした。 	<p>4月～5月 (5回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン講座 初級・インター ネット講座	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級クラス パソコン操作に慣れていない方対象。パソコンの基礎的操作を知る。 ・インターネット講座。インターネットの操作方法を学ぶ。この講座を受講し生活がさらにひろがる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらの講座も少人数のため一人一人の質問やペースのあわせることができる。またテキストも購入し各自に配布する為家に帰っても自習しさらに深めることができる。 	<p>5月 (全4回) 午前・午後</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏野菜を プランターで楽しむ	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭のない方でも楽しめるようプランターを使っての野菜作りを紹介する。この企画を通してやさいを作る楽しさ、収穫の喜びを体験してもらう。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜に適した土、栄養、育て方。注意点などを紹介する。また日よけにもなるひょうたんやゴーヤなど簡単に出来る植物も紹介する 	<p>5月 (1回)</p>

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜開港150周年記念事業 『はまどり艇』に乗って 横浜を知ろう!	(目的) 横浜開港150周年記念事業へ協会として参加する。共同の 目的で、共同作業をすることにより地域住民の交流を図る。 ◀施設協会8館合同事業▶ (内容) 横浜開港150周年協会が計画した内容で、参加者がダンボー ル等を素材としたFUNE(船)をつくる。会場提供、参加者募 集、当日の運営補助等を担う。	5/22 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
純銀粘土で作る シルバーアクセサリ	(目的) ・簡単に出来るシルバーのアクセサリを紹介し物作りの楽し さを体験する。 (内容) ・アートクレイシルバーは純銀の微粉末・水・バインダー(結 合材)の3つから出来ている粘土、好きな形にした後乾燥させ て高温で焼くことにより粘土に含まれる水や結合材は焼失し純 金だけが残る。粘土感覚で本格的な作品づくりを楽しむ。	6/5 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃのドクター 養成講座	(目的) ・「おもちゃ連絡協議会」監修の「おもちゃドクター入門」を 教本に道具の種類・使い方修理のうら技などを学ぶ。 (内容) ・1日 おもちゃのドクターとおもちゃの病院の関係おもちゃ ドクター基礎知識。道具の使い方と修理のうら技 ・2日おもちゃの構造の理解・分解・組み立てテキストを使い ながら実際におもちゃを分解組み立てて学ぶ。	6/14・28 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕かざり	(目的) ・五節句の一つ。星を祭る伝承行事。5色の短冊に歌や字を書 いてかざりつけ、書道や裁縫の上達を祈るもの。季節感を感じ ながら伝承行事に触れる。 (内容) ・来館されたかたに参加を呼びかけ思い思いの願いごとを短冊 に書いてつるす。また短冊だけでなく折り紙・包装紙なども用 意し七夕かざりを作ってもらい雰囲気盛り上げていく。	7/1~7/7

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜開港150周年記念事業 『横浜FUN プロジェクト』	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜開港150周年記念事業へ協会として参加する。こどもから大人が共同の目的で、共同作業をすることにより交流を図る <p>≪施設協会8館合同事業≫</p> <p>(内容)</p> <p>横浜開港150周年協会が計画した内容で、参加者がダンボール等を素材としたFUN(船)をつくる。会場提供、参加者募集当日の運営補助等を担う。</p> <p>制作指導：日比野克彦アートプロデューサー。東京芸術大学他学生ボランティア</p> <p>会場：野庭地区センター</p>	10月か11月 (1回4日間)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長生き健康法の一つ。ストレスを解消し誰にでも無理なく楽しんで頂くことを目的とする。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者のかたが参加しやすい時間帯や曜日を選び今まで参加したくても参加できなかった方たちにも参加してもらおう。また内容も初歩コースとしお年寄りから若者まで楽しめる内容とする。 	9月～10月 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
陶芸	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土をこね器をつくる。陶芸をしてみたいが時間がない。お金がかるとおもいがちだがそのような方たちにも気軽に楽しんでいただける企画。陶芸の楽しさ、おもしろさを体験する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> クリスマスツリーを作る。はじめてのかた、少し陶芸をしたことのあるかた、どちらにも楽しめる内容。 	11月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニ・コンサート	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> おじいちゃん。おばあちゃん。おとうさん。お母さん。おにいちゃん。おねえちゃん。赤ちゃん。地域のみなさんが集まって楽しい音楽を聴き楽しいひとときを過ごす。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ「けんたところた」のコンサート。みなさんの知っている曲を選曲し、普段着で楽しめるコンサートにする。 	12月 (1回)

(様式10)
平成20年度

収支予算書

施設名 桜道コミュニティハウス

収入の部

(単位:千円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,298				0	横浜市より
利用料金収入	0					
自主事業収入	242				0	
雑入	176	0	0	0	0	
印刷代	100				0	
自動販売機手数料	75				0	
その他(預金利息)	1				0	
その他()					0	
その他()					0	
収入合計	21,716			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	15,063	0	0	0	0	
給与・賃金	13,613				0	
社会保険料	1,133				0	
通勤手当	227				0	
健康診断費	78				0	
勤労者福祉共済掛金	12				0	
事務費	876	0	0	0	0	
旅費	15				0	
消耗品費	303				0	
会議賄い費	10				0	
印刷製本費	20				0	
通信費	150				0	
使用料及び賃借料	0				0	
備品購入費	100				0	
図書購入費	250				0	
施設賠償責任保険	3				0	
職員等研修費	10				0	
振込手数料	0				0	
リース料	0				0	
手数料	10				0	
地域協力費	0				0	
その他	5				0	
事業費	479	0	0	0	0	
自主事業費	479				0	参加費242千円含む
わんぱくホリデー	0				0	
管理費	3,632	0	0	0	0	
光熱水費	1,920	0	0	0	0	
電気料金	1,100				0	
ガス料金	610				0	
水道料金	210				0	
清掃費	189				0	
修繕費	200				0	
機械警備費	409				0	
設備保全費	914	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	78				0	
消防設備保守	28				0	
電気設備保守	58				0	
害虫駆除清掃保守	0				0	
その他保全費	750				0	法定設備点検含む
共益費	0				0	
公租公課	700				0	
事務経費	966				0	
二一ズ対応費	0				0	
支出合計	21,716	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--